

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ

授業コード： 2230400300

英文科目名称： Public Health Nursing Activities Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	保健師課程必修
担当教員			
高林知佳子、◎前川絵里子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 高林 知佳子</p> <p>◎前川 絵里子</p> <p>【研究室】 304</p> <p>307</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 保健師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p> <p>◎ ○</p>
------	---

到達目標	障害および精神障害、心の健康づくり、難病の公衆衛生看護活動を理解する。
授業概要	健康課題別の保健福祉サービスの諸制度との中で機能する公衆衛生看護活動、健康問題を持ちながら地域で生活する人たちのQOLを高める援助、制度の中で果たしている看護の役割を学ぶ。この授業の最後には、健康課題別の公衆衛生看護活動を考える演習を通し、障害および難病を持ちながら地域で生活している人と家族に対する公衆衛生看護活動、心の健康づくりのための公衆衛生看護活動についての学びを深める。
授業計画	<p>1 授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学習課題：在宅障害者の保健福祉施策と公衆衛生看護活動を理解する。</p> <p>障害を持ちながら地域で生活していく中で感じる困難やニーズを理解する。</p> <p>学習内容：1. 障害児者保健の動向</p> <p>2. 障害児者に対する施策（障害者総合支援法、地域共生社会）</p> <p>3. 障害児者に対する公衆衛生看護活動</p> <p>4. 演習（公衆衛生看護活動計画）の対象について</p> <p>備考：前川</p> <p>2-3 授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学習課題：精神障害者の地域生活を支えるための公衆衛生看護活動を理解する。</p> <p>心の健康づくりのための公衆衛生看護活動を理解する。</p> <p>学習内容：1. 精神障害者保健の動向</p> <p>2. 精神障害者に対する施策</p> <p>3. 精神障害者に対する公衆衛生看護活動</p> <p>4. わが国の自殺の現状</p> <p>5. 心の健康づくりに対する施策</p> <p>6. 心の健康づくりに対する公衆衛生看護活動</p> <p>7. 演習（公衆衛生看護活動計画）の対象について</p> <p>備考：高林</p> <p>4-5 授業内容</p> <p>授業形態：講義、グループワーク</p> <p>学習課題：難病を抱える療養者と家族に対する公衆衛生看護活動を理解する。</p> <p>学習内容：1. 難病対策の経緯</p> <p>2. 難病療養者・家族の抱える問題</p> <p>3. 難病療養者数の動向</p> <p>4. 難病療養者・家族への公衆衛生看護活動</p> <p>5. 演習事例について</p> <p>6. 演習（公衆衛生看護活動計画）の対象について</p> <p>備考：前川</p> <p>6-7 授業内容</p> <p>授業形態：グループワーク</p> <p>学習課題：障害、難病を抱える療養者と家族に対する公衆衛生看護活動、心の健康づくりのための公衆衛生看護活動を考える。</p> <p>学習内容：1. 障害（身体障害、知的障害）・難病を抱える療養者と家族が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるための公衆衛生看護活動計画、心の健康づくりのための公衆衛生看護活</p>

	<p>動計画の作成 備考：前川, 高林</p> <p>8</p> <p>授業内容 授業形態：講義、討論 学習課題：障害、難病を抱える療養者と家族に対する公衆衛生看護活動の実際を理解する。 学習内容：1. 障害、難病を抱える療養者・家族に対する公衆衛生看護活動の実際 2. 公衆衛生看護活動計画に対する総評、意見交換 備考：前川, 高林, ゲストスピーカー（上越市すこやかなくらし支援室）</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：学習課題に関連するテキスト範囲を読み、重要な用語について整理する。 事後学習：公衆衛生看護活動計画を修正する。また他グループ作成の公衆衛生看護活動計画の内容を読み自らの意見をまとめる。</p>
評価方法、評価基準	<p>・筆記試験 75 %：期末試験として実施し、到達目標の達成度を評価する。試験日は最初の講義時に説明する。 ・公衆衛生看護活動計画 25 %：評価方法・評価基準および具体的な様式等は講義時に説明する。</p>
必携図書	<p>・医学書院：標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動</p>
参考図書・資料等	<p>・厚生労働統計協会：国民衛生の動向</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>受講：始業時間から20分以上遅刻した場合を欠席とみなす。 課題：公衆衛生看護活動計画をグループで作成する。具体的な方法、様式等は講義時に説明する。 資料配布：各講義時に配布する。</p>
教員からのメッセージ	<p>地域で生活する障害者に対する公衆衛生看護活動の方法については、既に学んだ臨床看護の科目、地域生活看護の科目の知識を基礎とするので復習を十分にしてください。地域住民の生活と健康を守る保健医療福祉の法律や制度は、毎年のように改正が行なわれているため、社会の動きにも目を向けながら興味と関心を持って学習することを期待します。 双方向の授業にするために学生とディスカッションしながら授業を展開していく予定です。</p>
オフィスアワー	